

令和7（2025）年度 第2回ふるさと館運営協議会次第

日時：令和7（2025）年11月21日（金）午前10時～

場所：飯山市ふるさと館 体験室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

（1）令和7（2025）年度10月末までの事業経過について

（2）令和8（2026）年度ふるさと館運営・活動方針（案）及び事業計画（案）
について

（3）館内体験料について

4 その他

5 閉 会

ふるさと館運営協議会名簿

職	氏 名	所 属	任期
会長	青 木 修	飯山市教育委員会	R6. 4. 1～R8. 3. 31
職務代理	大月 よし子	ふるさと館友の会	R6. 4. 1～R8. 3. 31
	小 出 清 美	社会教育（公民館長会）	R6. 6. 1～R8. 3. 31
	梨子田 昌央	学校教育（校長会推薦）	R7. 5. 1～R8. 3. 31
	柴 田 さほり	観光機関代表	R6. 4. 1～R8. 3. 31

職	氏 名	連絡先
教 育 長	山 田 晃	教育委員会事務局 62-3111
文化振興部長	島 崎 紀 明	飯山市公民館 62-3342
ふるさと館館長	望 月 静 雄	飯山市ふるさと館 67-2030
文化財係長	藤 木 栄 子	
文化財係学芸員	丑 山 直 美	
ふるさと館職員	山本 伊都子	
ふるさと館職員	小 島 昌 子	

令和7(2025)年度 ふるさと館 中間事業報告

1 企画展

飯山の歴史・文化を紹介するためのテーマを取り上げ、市内外の方々に飯山の個性を紹介し、情報を発信しました。

内 容	期 間	来館者数
奥信濃の土偶たち	4月26日～ 6月8日	714名
文化的景観選定10周年 「文化的景観 小菅の里」	6月14日～ 8月24日	980名
思い出の学校展～今、よみがえるあの日の記憶～	9月6日～11月24日	※2,212名
収蔵品展	12月6日～ 1月25日	
城下町ひな街道ひな人形展 ※商店街と連携	2月7日～ 3月15日	

※11月11日現在

【関連企画】

企画展の開催に合わせ、関連イベント・展示解説を行いました。

実施日	内 容	講師等	参加人数
6月14日	小菅の魅力再発見講座	丑山学芸員	6名
6月20日	重要文化的景観10周年記念ピアノコンサート	日南由紀子氏・持田佳音氏	126名
6月21日	重要文化的景観10周年記念シンポジウム	学習発表・パネルディスカッション・基調講演	94名
9月27日	秋まつり小学校 ミニミニ運動会	学びのエリア秋まつり	50名
9月28日	フリー座談会「語ろう！あの日の給食」	ふるさと館職員	15名
10月18日	「人気の給食、作ってみよう！」	小林美代子氏	24名
2～3月	ひな人形展関連ワークショップ		

2 ふるさと館たいけん工房

ふるさと館事業として、市内小学生以上を対象に、ふるさと館市民学芸員等が講師となり、郷土を学ぶことを目的とした体験教室を開催しました。

実施日	内 容	講 師	参加人数
5月17日	城下町いいやま探検隊！	市民学芸員	7 名
7月12日	ぼわん 内山紙の灯り	市民学芸員	21 名
8月9日	夏のぞうりを作ろう	市民学芸員	19 名

計 47 名



8月9日「夏のぞうりを作ろう」



10月18日「人気の給食、作ってみよう！」

3 小学校・中学校・高校・団体による見学・体験

ふるさと館の施設見学や学年ごとの学習単元に合わせた古代学習（勾玉作り・火起こし・土器観察）や昔のくらし体験（石臼挽き・洗濯板・機織り・昔の道具調べ）などの体験学習を行いました。

1) 市内学校関係(来館)

実施日	学 校 名	内 容	人 数
7月3日	城北小学校 6年生	館内見学	60 名
10月7日	城北小学校 3年生	館内見学	35 名
10月29日	城北小学校 4年生	館内見学	37 名

計 132 名

令和6年度10月末 19名

2) 市内学校関係(出張)

実施日	学 校 名	内 容	人 数
6月12日～ 10月30日	飯山小 歴史体験クラブ 4～6年生（19名×3回）	出張講座（勾玉・じゅず玉・ふわふわボール）	57 名
10月16日	城南中未来塾①1年生	出張講座（勾玉）	10 名
10月30日	城南中未来塾②1年生	出張講座（火起こし・組みひも）	10 名

計 77 名

令和6年度10月末 192名



飯山小歴史体験クラブ「ふわふわボール」



城南中職場体験(標本箱メンテナンス)

3) 市外学校関係

実施日	学 校 名	内 容	人 数
6月10日	府中市立第八小学校5年生	見学	118 名
6月25日	長野日大小学校3年生	見学 火起こし	26 名
6月26日	長野日大小学校3年生	見学 火起こし	26 名
7月3日	府中市立武蔵台小学校5年生	見学	35 名
9月4日	府中市立第住吉小学校5年生	見学	59 名
9月14日	武蔵野市立桜野小学校5年生	見学	136 名
9月20日	府中市立矢崎小学校5年生	見学	72 名
9月20日	武蔵野市立大野田小学校5年生	見学	127 名
9月26日	武蔵野市立関前南小学校5年生	見学	63 名
9月26日	長野市立緑ヶ丘小学校3年生	見学	93 名
10月1日	府中市立四谷小学校5年生	見学	103 名
10月9日	府中市立日新小学校5年生	見学	82 名
10月10日	府中市立日新第4小学校5年生	見学	90 名
10月16日	府中市立若松小学校	見学	93 名

計 1,123 名

令和6年度10月末 1,064名 前年度比105.5%

4) 民宿セカンドスクール

戸狩観光協会等を通じたセカンドスクールとして、東京・神奈川方面の小中学生が、滞在する各民宿より来館。館内見学にあわせ各種体験を行いました。

実施日	団 体 名 等	内 容	人 数
5月～6月	市内民宿より（計10件）	勾玉・見学	109 名

令和6年度10月末 230名 前年度比47.3%

5) その他

実施日	団 体 名 等	内 容	人 数
4月19日	横浜南央ロータリークラブ	見学 火起こし	34 名
8月7日	歩学習塾	見学	27 名

計 61 名



セカンドスクール「勾玉作り」

4 伝統文化保存活用

郷土に伝わる年中行事にそった伝統技術や郷土食作りを行うことにより、市内小学生に地域に残された伝統文化を知ってもらうことを目的とした体験教室を開催しました。

1) 伝統技術

ねらい 地域の達人から指導を受けながら、正月の伝統行事であるしめ縄を作り、達人や仲間との交流を図りながら伝統文化を学ぶ。

実施日	内 容	講 師	人 数
12月20日	しめ縄作り	市 民 学 芸 員	名

2) 食文化

ねらい 農休みに作られた笹もち、小正月のまゆ玉（ものづくり）、2月の行事食であるやしょうまづくりを体験しながら、郷土に伝わる食文化や伝統行事について学ぶ。

実施日	内 容	講 師	人 数
6月14日	笹もち作り	いいやま食文化の会	21 名
1月10日	まゆ玉作り	ふるさと館スタッフ	名
2月14日	やしょうま作り	いいやま食文化の会	名

5 見よう！学ぼう！集まろう！学びのエリア“秋まつり”2025

「飯山市の社会教育・生涯学習拠点施設である各施設の特長を活かしながら合同イベントを開催し、市民により親しみ活用していただく機会とする」という全体目的を踏まえ、ふるさと館では「ふるさと館秋まつり」と題し、大勢の家族連れや子ども達が昔の遊びなど体験することができました。

ふるさと館市民学芸員・友の会会員の方々をはじめ、市民ボランティアの方にもご協力いただき、盛大に開催できました。

実施日	内 容	来 館 者 数
9月27日 (土)	・弓矢、火おこしなどの縄文体験 ・駄菓子屋コーナー ・木工クラフト・手芸クラフト ・わら細工体験コーナー	414 名
9月28日 (日)	・「二十歳を迎えたふるさと館コーナー」（過去のチラシ展） ・館内販売図書のプライスダウン！（34冊販売） ・イベント「秋まつり小学校ミニミニ運動会」（9/27） ・イベント フリー座談会「語ろう！あの日の給食」（9/28）	340 名

754 名

令和6年度 616名 前年度比122.4%



田休みの伝統行事「笹もち作り」



秋まつりイベント「ミニミニ運動会 玉入」

6 ふるさと館友の会の活動

1) 現地学習・先進地視察（秋の視察は寺町城山部会の学習会を兼ねる）

実施日	内 容	人数
5月24日	下諏訪町「諏訪信仰を学ぶ」	25 名
10月25日	長野市鬼無里「秋の鬼無里を歩く」	28 名

計 53 名



5月8日学習会「諏訪信仰を学ぶ」

2) 視察事前学習会

実施日	内 容	人数
5月8日	「諏訪信仰を学ぶ」	16 名

計 16 名

3) 寺町城山部会

実施日	内 容	人数
5月16日	「長瀬先生と歩く 城下町いいやま再発見！」	13 名

計 13 名



5月31日「小菅護摩堂 池清掃」

4) 小菅の景観部会

実施日	内 容	人数
5月31日	護摩堂池清掃	10 名
6月28日	小菅神社茅の輪作り	7 名

計 17 名



10月25日「鬼無里 松巖寺」

5) 書籍発刊

書 籍 名	発刊日
「奥信濃文化」第45号	令和7年11月30日
「奥信濃文化」第46号	令和8年3月31日

6) 友の会だより 104～109号発行

7) その他 9月27日・28日 秋まつりへの協力（各コーナー運営）延べ37名
10月19日 寺宝展への協力 6名

7 ふるさと館入館者数

・ ふるさと館総入館者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4-10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	378	560	484	358	421	627	2,186	5,014	710	321	425	537	740	7,747
R5年度	279	595	813	512	384	1,248	1,759	5,590	612	310	291	824	473	8,100
R6年度	273	522	555	495	328	907	1,532	4,612	299	225	274	376	475	6,261
R7年度	258	468	764	329	258	1,564	851	4,492						4,492

【再掲：有料入館者】

・ ふるさと館単独入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4-10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	76	134	85	69	88	53	103	608	163	40	54	112	189	1,166
R5年度	52	193	216	91	85	131	433	1,201	131	110	75	127	129	1,773
R6年度	79	222	234	131	162	506	442	1,776	97	61	43	118	136	2,231
R7年度	116	200	357	97	120	290	431	1,611						1,611

・ 3館共通入館者数（ふるさと館・美術館・伝統産業会館）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4-10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	6	15	27	11	31	81	239	410	139	7	80	58	15	709
R5年度	12	28	46	21	23	120	234	484	44	6	47	55	31	667
R6年度	10	31	36	60	8	102	221	468	14	9	77	33	13	614
R7年度	15	24	-	-	-	360	93	492						492

・ 4館共通入館者数（3館＋人形館）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4-10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	27	40	18	21	30	43	26	205	21	2	2	13	10	253
R5年度	13	30	120	27	22	41	48	301	32	8	11	13	14	379
R6年度	18	25	16	20	12	20	14	125	18	12	4	15	16	190
R7年度	10	56	-	-	-	13	16	95						95

8 友の会会員数

(単位：人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
会員数	74	84	95	94	95	108	126	124	130	129	124	124	116

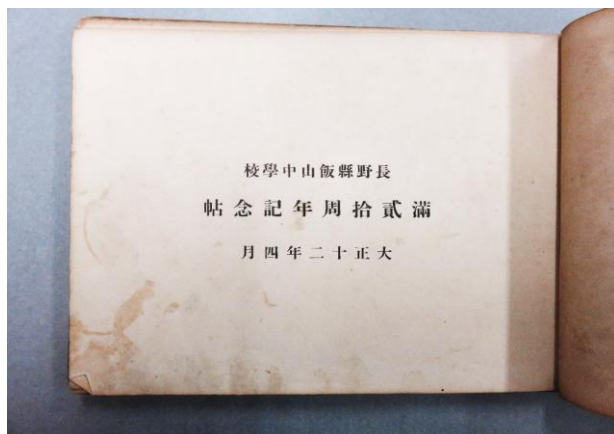
R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
106	107	113	113	116	116	120

9 ふるさと館新規収蔵資料・保存

令和7（2025）年4月から令和7年10月までに、ふるさと館へ新たにご寄贈いただきました資料は以下のとおりです。

民俗資料：0件 歴史資料：22件 古文書：0件

資料名	種 別
阿部芳春著「佛教の學的解説」	歴史
長野県飯山中学校満二十周年記念帖(対象十二年四月)	歴史
飯山史、村史ときわ、秋津村誌、柳原村誌	歴史
小学校教科書(昭和39～51年)	歴史



令和8（2026）年度 ふるさと館運営・活動方針（案）

1. ふるさと学習の推進

1) 学校の教科にあわせた学習支援・市民の郷土学習の推進

小学校の学習教科にあわせた展示や体験メニューを用意し、ふるさと学習の推進に努めます。

（体験メニュー：石臼、洗濯板、唐箕、火おこしなど）

また、ふるさと館まで出掛けられない小中学校や施設などに対しては、出張講座やそれらの道具の貸し出しを行います。

2) 市外の学校見学・体験対応

伝統文化を体験できる施設としてさらに情報提供し、社会見学や体験学習に訪れていただくように推進します。

3) 市民の方々をはじめとする飯山を知る情報の提供

飯山の自然、歴史、文化を学ぶための講座や講演会・現地学習を開催します。また、郷土の調査・研究に対しての解説や資料提供を進めます。

4) 伝統文化の保存・活用

市内の子どもたちを中心に、地域に伝わる伝統文化に親しみ、未来に伝えていくことを目的として、季節ごとのふるさとに伝わる郷土食や伝統技術などの体験教室・講座を開催します。

2. 情報発信

1) 企画展の開催

ふるさと飯山に関わる人々の営みについて、市内の文化遺産をテーマ別に取り上げて展示し、市内外に向けて飯山の個性を紹介していきます。

2) ホームページ・広報誌の活用

ホームページやブログ、広報誌、SNSを活用し、また報道機関を通して、幅広く情報発信を行います。

3) 資料の公開

飯山の自然・歴史・文化を情報発信するために、資料の収集、調査・研究成果の公開を積極的に推進します。

4) 書籍類の発刊

ふるさと学習をまとめた友の会会報「奥信濃文化」や調査・研究の報告書などの発刊を通して飯山の情報を発信します。

3. ふるさと館友の会の充実

市内文化財の見学や文化施設の視察、調査・研究活動などさまざまな活動を通して、ふるさと飯山の自然・歴史・文化を学びながらふるさと館の運営活動を会員とともに充実させていきます。

4. 資料の収集・保存

貴重な市内の文化遺産資料を散逸させないように、市内資料を積極的に収集、保存、活用します。

5. その他

- ・ 寄贈資料の受け入れ、整理、保管をします。
- ・ 飯山市ふるさと学習小中連携教育カリキュラム作成委員会へ協力します。
- ・ 学びのエリア秋まつりの実施に際し、展示や体験学習の充実を図ります。（10月上旬）

令和8（2026）年度 ふるさと館事業計画（案）

1 ふるさと学習の推進

1) 学校教科にあわせた学習支援

- 学校の学習单元にあわせ館内資料を使いながら、体験とともに学習を深められるメニューを用意する。（体験メニュー：石臼、洗濯板、唐箕、火起こし、勾玉作り など）
- 市内・市外 小・中・高校による見学・体験の受け入れ、総合学習など学習、研究の支援
- 民宿等（セカンドスクールなど）による見学・体験の受け入れ
- 出張講座 市内小学校クラブ活動へ出張、関連授業等へ出張講座（昔の道具、考古など）

2) 伝統文化の保存・活用

- 地域の伝統文化を学ぶための体験教室「ふるさと館たいけん工房」の開催
 - ・「いいやま食文化の会」やふるさと館市民学芸員など、地域の達人を講師とした体験教室の開催（笹もち作り、昔あそび、凧揚げ など）

2 企画・イベントの開催予定

1) 企画展

- | | | |
|--------|---|---------------|
| ①春季企画展 | （仮）「正受庵開基 360 年記念展」 | （4 月～5 月） |
| ②夏季企画展 | （仮）「昭和101展」 ^{いちまるいち} なりわい（生業）編 | （6 月～8 月） |
| ③秋季企画展 | （仮）「昭和101展」くらし編（暮らし）編 | （9 月～11 月） |
| ④冬季企画展 | （仮）「収蔵品展」 | （12 月～1 月） |
| ⑤企画展 | 「城下町ひな街道 ひな人形展」 | （2 月上旬～3 月中旬） |

企画展の間にミニ企画展を開催

2) 学びのエリア「秋まつり」の開催（10 月上旬）

市の社会教育・生涯学習の拠点である学びのエリアのなかで、ふるさと館の資料や友の会・市民学芸員などの特技を活かしテーマを設けたイベントを行うことで、より多くの来館者に地域の歴史や文化を紹介する。

3 情報発信

企画展や学習会、体験教室などの情報を随時 HP・市報・SNS に掲載し、新鮮な話題・情報を提供する。

4 ふるさと館友の会関係

- ・友の会先進地視察（年 2 回）
- ・会誌「奥信濃文化」の発刊（年 2 回）
- ・友の会各部会活動、総会の開催
- ・友の会だよりの発行
- ・各種関連イベントへの協力

5 その他

- 1) 寄贈資料の受け入れ、整理、保管
- 2) ふるさと学習小中連携教育カリキュラム作成委員会への協力

ふるさと館インバウンド向け体験料金の開始について

1 算出根拠

ふるさと館へ来館される海外観光客の主な国（オーストラリア、アメリカ）の物価から体験料金を算出。

2 各国の物価比較（自治体 AI zevo 参照）

オーストラリア

オーストラリアと日本の物価を比較すると、一般的にはオーストラリアの物価は日本よりも約 1.5 倍～2 倍程度高いとされている。ただし、具体的な物価差は項目によって異なる。

オーストラリアの体験講座は多くの場合、日本の 1.5 倍～2 倍の価格になると言える。

アメリカ

アメリカと日本の物価を比較すると、一般的には 1.3 倍～2 倍程度高いとされている。ただし、物価の差は地域や商品、サービスによって大きく異なる。

アメリカの体験講座の価格は、日本の 1.5 倍～3 倍程度になることが多い。

3 体験料の算出

主な来館者の国（オーストラリア、アメリカ）の物価から算出

勾玉作り体験 現在 300 円 ⇒ 1,000 円

300 円×2 倍＝600 円

英語表記の対応、説明、パッケージ代 400 円



組みひも作り体験 現在 200 円 ⇒ 1,000 円

200 円×2 倍＝400 円

英語表記の対応、説明、パッケージ代 600 円



4 体験料の開始予定月

令和 7（2025）年 12 月